

がん検診のススメ

がんは早期発見すれば90%以上が治ります！

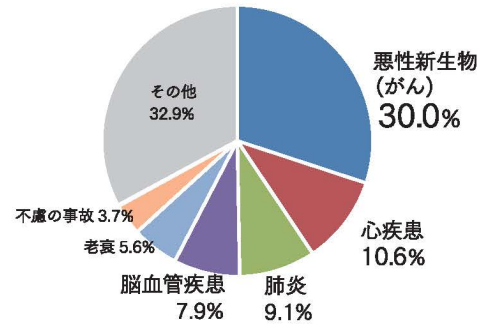
ポイント
01

「3人に1人が がんで亡くなっています」

おおよそ2人に1人が、一生のうちに「がん」と診断され、3人に1人はがんで亡くなっています。

がんは高齢者に多い病気ですが、がんにかかる人の3割は40～64歳の現役世代であるため、油断は禁物です。

久留米市の死因別死亡数割合
(平成28年)



ポイント
02

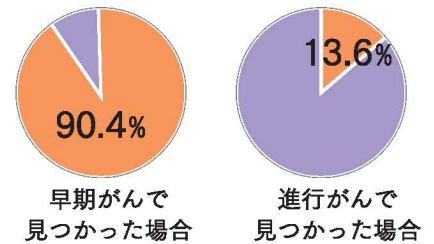
「早く見つけて早く治す」ことが大切。

早期治療により約90%が治癒し、治療費の負担も1/10近く少なくなります

以前は「不治の病」と恐れられていたがんも、近年治療技術が進歩し、早期発見・早期治療により生存率が確実に向上しています。また、治療にかかる経済的な負担も少なくなります。

早期のがんは、まず自分では気づきません。「おかしいな」と思ってから病院に行っていては手遅れになることもあります。定期的ながん検診を受けてください。

■がん発見時進行度別の5年生存率



■がん進行度別の5年間の治療費比較

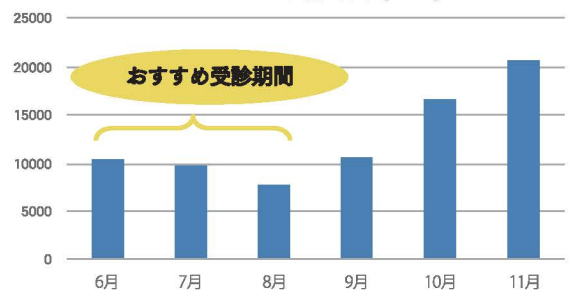
	I期 (早期がん)	III期 (進行がん)
胃がん	77万円	287万円
乳がん	79万円	669万円

ポイント
03

「受診は6月～8月がおすすめ」

9月以降は、かけ込み受診が増え、医療機関も集団会場も込み合います。スムーズに受けられるよう早めの受診がおすすめです。

けんしん受診者数(H30)



【がん検診に関する注意事項】

がん検診では、がんを100%見つけられるわけではありません。がんそのものが見つけにくい場所にあったり、見つけづらい形であったりすることがあります。

がん検診では、がんでなくても精密検査や治療が必要と判定される場合があります。

がん検診では、生死にかかわらない、放置しても進行しないがんが見つかる場合があります。

それによって、治療や検査が行われることがあります。

